

1 本県の学校管理下における事故発生件数と発生率の推移

10年間の推移を見ると、中学校は平成28年に一時期減少している。高等学校が増加傾向にあり、高等専門学校は近年減少傾向にある。発生率においては、中学校が12%を超える高い発生率になっている。

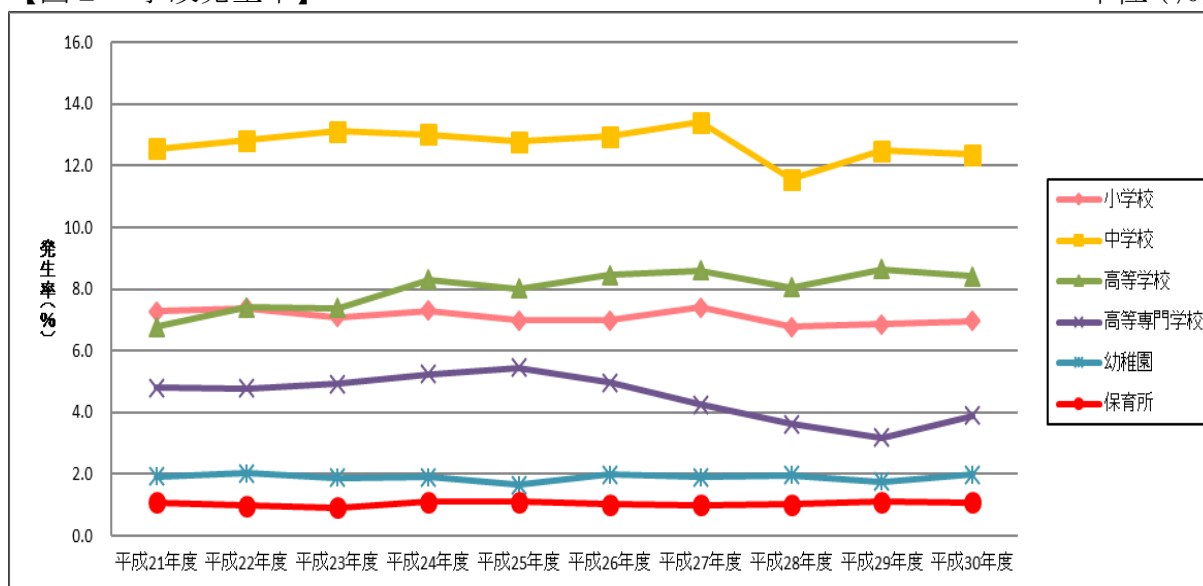
【図1 事故発生件数】

単位（件）

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
小学校	7,553	7,539	7,145	7,254	6,850	6,837	7,194	6,586	6,658	6,820
中学校	6,919	6,903	6,985	6,814	6,655	6,661	6,833	5,768	6,126	5,953
高等学校	3,736	4,068	4,002	4,465	4,255	4,453	4,469	4,164	4,421	4,239
高等専門学校	86	83	82	83	82	69	59	50	45	55
幼稚園	305	315	292	299	258	306	314	354	329	377
保育所	362	323	298	370	364	340	325	314	323	307
計	18,961	19,231	18,804	19,285	18,464	18,666	19,194	17,236	17,902	17,751

【図2 事故発生率】

単位（%）



2 本県の運動部活動における事故発生状況（平成30年度（2018年度））

【図3 場合別災害発生状況】

単位（件）

	小学校	中学校	高等学校	合計
運動部活動	715	3,158	2,482	6,355
文化部活動	6	21	47	74
体育授業	1,386	1,137	750	3,273
運動会・体育祭	38	128	86	252
体育的行事	36	95	188	319
その他	4,639	1,414	686	6,739
合計	6,820	5,953	4,239	17,012

運動部活動における事故発生件数は、図3のとおり中学校が3,158件と最も多い。合計で6,355件である。

【図4 場合別災害発生状況割合】

単位 (%)

	小学校	中学校	高等学校	合計
運動部活動	10.5	53.0	58.6	37.4
文化部活動	0.1	0.4	1.1	0.4
体育授業	20.3	19.1	17.7	19.2
運動会・体育祭	0.6	2.2	2.0	1.5
体育的行事	0.5	1.6	4.4	1.9
その他	68.0	23.8	16.2	39.6

図4のとおり、運動部活動における事故発生件数の割合は、学校管理下における全ての事故発生件数に対して中学校で約53%、高等学校で約59%と過半数を超える。

3 本県の運動部活動別事故発生状況（平成30年度（2018年度））

【図5 部活動別事故発生状況】

単位 (件)

		小学校	中学校	高等学校	合計
水泳		2	10	11	23
器械体操・新体操	鉄棒運動	0	0	0	0
	跳箱運動	0	1	1	2
	マット運動	0	6	10	16
	その他	0	3	13	16
	計	0	10	24	34
陸上競技	短距離走	5	56	35	96
	持久走・長距離走	7	92	31	130
	障害走（ハードル）	4	20	6	30
	走り高跳び	0	5	0	5
	走り幅跳び	2	4	2	8
	投てき	0	1	3	4
	その他	1	15	6	22
	計	19	193	83	295
球技	ドッジボール	2	0	1	3
	サッカー・フットサル	189	700	554	1,443
	テニス（含ソフトテニス）	1	158	65	224
	ソフトボール	16	41	38	95
	野球（含軟式）	65	310	314	689
	ハンドボール	14	104	165	283
	バレーボール	32	324	201	557
	バスケットボール	304	745	454	1,503
	ラグビー	0	62	92	154
	卓球	0	33	9	42
	バドミントン	30	107	72	209
	ホッケー	0	5	10	15
	その他	1	1	13	15
計	654	2,590	1,988	5,232	
武道等	柔道	0	92	88	180
	剣道	7	64	42	113
	相撲	2	2	3	7
	空手	0	7	24	31
	弓道	0	3	9	12
	なぎなた	0	0	2	2
	ボクシング	0	0	25	25
	レスリング	0	0	9	9
	フェンシング	0	0	2	2
	その他	0	3	14	17
	計	9	171	218	398
その他	登山	0	0	1	1
	自転車競技	0	0	8	8
	ウェイトリフティング	0	0	0	0
	ボート	0	0	3	3
	ヨット	0	0	0	0
	カヌー	0	0	3	3
	その他	2	0	26	28
計	2	0	41	43	
準備運動等	準備・整理運動	16	54	22	92
	体操（組体操）	0	1	1	2
	縄跳び	0	0	2	2
	筋力トレーニング	2	40	45	87
	その他	5	26	16	47
計	23	121	86	230	
合計	709	3,095	2,451	6,255	

小学校・中学校・高等学校ともに、設置数が多い球技の発生件数が多い。また、準備運動等の発生件数も一定数見られ、練習前、準備運動の段階から終了後の指導まで、あらゆる事故を想定して、安全管理を徹底していく必要がある。

4 全国の学校の管理下の死亡の発生件数

【図6】場合別の発生件数

単位（件） ○は突然死数で内数

場合		小	中	高等学校等・ 高等専門学校	特別支援学校	幼稚園・幼 保所等	総計					
各教科等	体育（保健体育）	水泳		1	①		1					
		持久走・長距離走	1	①			1					
		サッカー・フットサル	1		1	①	2					
		準備・整理運動等	1	①			1					
	その他の教科		1	2			3					
保育中						5	②	5				
特別活動 （除学校行事）	学級（ホームルーム）活動		1		高	1	①	2				
	児童（生徒・学生）会活動		1					1				
学校行事	競技大会・球技大会	1	①					1				
	修学旅行		2	②	中	1	①	3				
	その他健康安全・体育的行事		1	①				1				
	その他			1				1				
課外指導	体育的部活動	陸上競技（その他）		1				1				
		サッカー・フットサル			1			1				
		テニス（含ソフトテニス）			1			1				
		野球（含軟式）		1	①	1		2				
		バレーボール		1				1				
		バスケットボール		1	①			1				
		ラグビー			1			1				
		卓球		1				1				
		球技（その他）			1	①		1				
	レスリング			1	①		1					
	文化的部活動		1	3	②			4				
水泳指導	1	①					1					
その他			2				2					
休憩時間	休憩時間中	3	5	1				9				
	昼食時休憩時間中	1	①	2	1	①		4				
	授業終了後の特定時間中		1	1				2				
	その他		1	1				2				
寄宿舎にあるとき				1			1					
通学中	登校（登園）中	2	①	2	4	②		8				
	下校（降園）中	2		2	3	①		7				
	通学（通園）に準ずるとき				1			1				
総計		13	⑥	26	⑥	28	⑨	2	②	5	②	74

※幼連：幼保連携型認定こども園の略

（日本スポーツ振興センター 平成30年度給付対象事例）

平成30年度の体育的部活動における死亡事故は中学校で5件、高等学校で6件、そのうち、4件が突然死である。（中枢神経系1件、心臓系3件）

生徒の健康管理・指導の徹底、運動開始前から準備運動及び運動中、運動後の計画健康状態の観察・把握、異常が見られた場合の教職員等の迅速な応急手当等、日常から研修等を行っていく必要がある。

突然死に関する参考資料（日本スポーツ振興センター刊行）

○ 『学校における突然死予防必携（23年改訂）』

（文部科学省、センターHP 学校安全 Web 掲載）

○ 映像資料『運命の5分間 その時あなたは～突然死を防ぐために～（9分51秒）』

〔参考〕

○ 熊本県教育委員会ホームページ

「交通・生活安全」 「1 学校管理下における児童生徒等の災害発生状況」

<http://kyouiku.higo.ed.jp/page8137/page10317.html>

○ 日本スポーツ振興センターホームページ「学校の管理下の災害〔令和元年版〕」

<https://www.jpnsport.go.jp/anzen/kankobutuichiran/tabid/1912/Default.aspx>